

十全會雜誌 自第壹號 至第五拾號 聰括索引,  
金澤醫學專門學校十全會雜誌第五拾號付録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/41680">http://hdl.handle.net/2297/41680</a>

明治四十一年六月發刊



東亞會雜誌  
自第一號  
至第五拾號  
總括索引

金澤醫學專門學校十全會雜誌第五拾號附錄

## 例言

○此索引ハ十全會雜誌第壹號ヨリ第五拾號マデノ所載各欄ニ就キ編成シタルモノニシテ便宜上之レヲ分チテ三篇トナセリ

○第一篇ハ『原著及實驗』『雜纂』『抄録』ノ諸欄ニ亘リ分科即チ

- |     |             |     |             |
|-----|-------------|-----|-------------|
| 第一  | 解剖學及生理學部門   | 第二  | 醫化學部門       |
| 第三  | 藥物學部門       | 第四  | 細菌學及寄生物學部門  |
| 第五  | 病理學及病理解剖學部門 | 第六  | 內科學部門       |
| 第七  | 外科學部門       | 第八  | 眼科學部門       |
| 第九  | 產科及婦人科學部門   | 第十  | 小兒科學部門      |
| 第十一 | 耳鼻咽喉科學部門    | 第十二 | 皮膚病學及花柳病學部門 |
| 第十三 | 衛生學部門       | 第十四 | 法醫學部門       |
| 第十五 | 治療學及其他、雜部門  | 第十六 | 藥學部門        |

(精神病學部門ハ掲載事項ナキ爲メ之レヲ設ケズ)

ノ部門ニ從ヒ各標題ヲ類別シタル目次ニシテ號ヲ逐フテ順列シ其所屬ノ判定シ難キ、又實際數科ニ關係アルモノ等ハ標題ノミナラズ復内容ヲモ參照シテ其ノ主トスル部ニ舉グルコトナセリ

○第二篇ハ『原著及實驗』『雜纂』欄ノ標題ヲシテ五十音順ニ類別シタル物件索引ナリトス、モト本索引ハ主トシテ實際上ノ便宜ニ適合セシメンガ爲メ標題ハ最モ普通ノ名稱ヲトリ且ツ方今醫、藥學上ノ術語ニシテ其音讀ノ誤用サ

ル、モノ尠カラザルモ此等ハ總テ通俗ノ慣用ニ從ヘリ又物件ノ兩様ニ亘ルモノ及病名ノ病理學上等ノ種別ヲ有スルモノハ可成ハ兩部ニ収メタリト雖主要ナラザル冒頭ハ之レヲ省畧シ或ハ他ヲ參照スベキ旨添記シヌ猶假名遣ハ發音ノ儘ニ從ヒ「ン」ハ五十音順ノ最後ニ出セリ

○第三篇ハ『漫録』『通信』『會報』其他ノ各欄ニ就キ編者ノ意ニヨリテ後日參考トナリ搜索ノ多カルベキ項ノミヲアゲ之レヲ號數別ニ列記シタリ

○第一、第二篇ニ用キタル數字ハ總テ其號數ヲ示スモノニシテ、ソレノ「合」トアルハ合刊號ノ意ナリ、又第一篇ニ於テ標題冒頭ニ○。△。▲(六號)ヲ附シテ原著、實驗。雜纂。抄録ヲ區別セリ

○本索引ニハ一切所屬頁數ヲ表示セズ、マタ人名索引編纂ハ之レヲ試ミザリキ

○本誌初刊以來、年ヲ關スル實ニ十三年ニ亘リ、其間雜誌部委員ノ更迭幾度ヲ經、マタ時代ノ推移ニ伴ヒ發展ノ機運旋轉シテ雜誌内容ノ案配、編纂ノ序次等年々相違スル所尠シトセズ、今索引編纂ニ當リ之ノ系統支離タルノ中ヨリ大約ノ統一ヲツクランガ爲メ凡ソ目下ノ編輯ノ序列ニ從ヒテ適宜其排列ヲ變更シ、表題ヲ改抹シタル箇所甚ダ多シ是レ索引編纂ニ忠ナル者ニ非ラズト雖マタ止ヲ得ザルナリ

明治四十一年六月廿五日

雜誌部委員  
編者 小原芳雄 識

自第壹號  
至第五拾號  
發刊日次

第壹號	二十九年十一月二十五日	第貳號	三十年三月十日
第參號	三十年六月十三日	第肆號	三十年十月二十五日
第伍號	三十一年三月三日	第陸號	三十一年六月十二日
第柒號	三十一年十一月八日	第捌號	三十二年四月五日
第玖號	三十二年七月十日	第拾號	三十二年十一月二十一日
第拾壹號	三十三年一月五日	第拾貳號	三十三年三月二十八日
第拾參號 第拾肆號 合冊	三十三年九月二十四日	第拾伍號	三十三年十月三十一日
第拾六號	三十四年一月一日	第拾柒號	三十四年三月五日
第拾八號	三十四年五月二十五日	第拾九號	三十四年七月七日
第貳拾號	三十四年十二月五日	第貳拾壹號	三十五年一月五日
第貳拾貳號	三十五年三月二十日	第貳拾參號	三十五年五月三十一日
第貳拾四號	三十五年七月五日	第貳拾五號	三十五年十二月二十六日
第貳拾六號	三十六年三月十日	第貳拾七號	三十六年六月十三日
第貳拾八號	三十六年七月十三日	第貳拾九號	三十六年十月十七日

第參拾號	三十六年十二月二十五日	第參拾壹號合刊	三十七年二月二十六日
第參拾參號	三十年四月十八日	第參拾貳號	三十七年六月二十一日
第參拾五號	三十七年十一月十二日	第參拾四號	三十八年一月一日
第參拾七號	三十八年四月十二日	第參拾六號	三十八年六月二十五日
第參拾九號	三十八年十二月八日	第參拾八號	三十九年三月三日
第四拾壹號	三十九年五月二十八日	第四拾號	三十九年十月十九日
第四拾參號	三十九年十二月二十八日	第四拾貳號	四十年四月十六日
第四拾六號合刊	四十年六月二十九日	第四拾四號合刊	四十年十一月十六日
第四拾七號	四十年一月三十一日	第四拾五號	四十一年六月二十五日
第四拾九號		第四拾八號	
		第五拾號	



第壹篇

原著及實驗  
雜纂抄錄

分科目次

# 第一 解剖學及生理學部門

- 上膊骨上顆突起ノ「デモンストラチオン」  
金子治郎 三
- 副長惣趾筋ニ就テ (插圖一)  
河内監次郎 四  
安治宅六
- 副腓腸筋ノ異常 (插圖二)  
中島擴三 五  
中西政太郎 六
- 懷孕ト男女トノ關係  
金子治郎 六
- 長掌筋及ヒ上膊動脈ノ異常一例  
飯塚忠男 八一  
金子治郎 九
- 「フォルマリン」固定ニ就テ  
金子治郎 二
- 人工的變縮足ノ剖見(支那婦人ノ足) (附、一圖版、三圖)  
金子治郎 一五
- 日本人ノ脊髓(第一回報告) (附、三表)  
久保武 二六—二七  
一—二
- 顔面神經ハ果シテ單純運動性ナル歟 (插圖九)  
森田齊次 二七  
金子治郎 二八
- 遺傳  
醫學博士 金子治郎 二八
- 鎌狀縁及隄弓ノ人工形成 (附、五圖版、三十八圖)  
醫學博士 金子治郎 四〇

○肉羹汁ノ消化機能ニ對スル試驗

佐々木 達 四

○金澤醫學專門學校解剖學教室頭蓋標品

測量報告第一 (附、一圖版、三圖)

中野鑄太郎 四

△上膊ニ於ケル筋肉、脈管及神經ニ同時ニ

來リタル異常ノ一例 後藤義賢 二〇

△尺骨動脈ノ畸形(淺在尺骨動脈ノ一種) (插圖一)

松山俊夫 二〇

△剖觀上ノ腋窩動脈畸形 (插圖一)

吉池省吾 三

▲類粘膜ニ於ケル皮脂腺ノ存在ニ就テ(一八) ▲口腔及唇粘膜ニ於ケル皮脂腺ニ就テ(二二) ▲大腦皮質神經髓鞘發育ノ研究(三三) ▲家鷄ノ顔面核ニ就テ(全)

# 第二 醫化學部門

○本校寄宿舎ノ食料ニ就テ

生沼曹六 五  
番場友平



○糖尿鑑識ノ一法タル Phenyl-hydraeinprobe

島田吉三郎 三四—三五  
一三六

△糖尿ニ就テ

S H 生 二

▲血滴ヨリ糖尿ヲ診斷スル法(二) ▲尿中水銀ノ鑑識(一六) ▲そまとーゼニ就テ(一七) ▲本邦人ノ常尿ニ就テ(一九) ▲自家中毒ノ本體ニ就テ(二〇) ▲胃液中脂肪分解性醱酵素存在ノ確定(全) ▲日本人ノ生理的胃液攪酸量ニ就テ(五〇)

### 第三 藥物學部門

○新催眠藥「ウエロナール」Veronal 及

「イゾプラール」Isopral ニ就テ

溝口龍三 四(合)

○Ueber Sublimat-Intoxikation.

飯森益太郎 四(合)

○結麗阿曹篤 Kreosotum ノ下熱作用ニ就テ

溝口龍三 四(合)

△醫家用製劑集

K S 生 一

▲鶏布兒油ノ皮下注射ニ就テ(一) ▲新局部麻醉劑おいかいん、全とろばこ  
かいん(一) ▲實扶的里血清ノ中毒實例(二) ▲下劑トシテいひちおーる(全)  
▲消毒藥トシテノ銀及銀鹽ニ就テ(あくとーる及いころーる)(三) ▲びろざ  
ーるトふねのぞーるトニ就テ(八) ▲小兒ニ於ケル急性阿片中毒(九) ▲鮑肺  
(あわびのつゝわた)中毒症ニ就テ(一六) ▲一新治創藥めらーん(一九) ▲ち  
ころふらんノ作用ニ就テ(二〇) ▲唾液中ニ於ケル水銀ノ發現ニ就テ(二二)  
▲副腎物質ノ治療上價値ニ就テ(二三)ノ經驗(二六) ▲あどれふりんニ就テ  
(動物試驗)(二七) ▲沃度製劑殊ニ沃度加里及よどびんノ體內ニ於ケル状態  
ニ就テ(全) ▲鹽化あどれふりんニ就テ(三二、三三、合) ▲麻醉劑トシテノよ  
ひんびーんニ就テ(三七) ▲必苦林酸及其鹽類ニ就テ(全) ▲酸ノあどれふりん  
ノ作用ニ及ボス影響ニ就テ(五〇)

### 第四 細菌學及寄生物學部門

○虎列拉血清療法ニ就テ

○免疫論

○免疫法ノ種類ニ就テ

○ウイダール氏凝集反應ニ就テ

○江田島産「アノフェイレス」蚊ノ研究(第一回)

○神奈川縣「ベスト」病況報告

野田忠廣 二—三

中濱東一郎 四

野田忠廣 五

上田計 二—八

鈴木寛之助 二—五

野田忠廣 三

○Untersuchungen über die Malaria übertragenden Stechmücken „Anopheles“, auf der Insel Hajaïma in Japan (mit 14 Figuren im 1 Tafel)

○富士山ノ細菌 鈴木寛之助 三  
松王 數男 四

○岐阜縣大垣町ニ於ケル肉又蚊ニ就テ  
附、金澤市ニ於ケル肉又蚊 (附、一圖版、五圖)

内藤 三太郎 四

▲赤痢病原ニ就テ(四) ▲猿化牛痘苗ノ研究(一〇) ▲結核免疫研究論文(一一) 二一三、一四、合) ▲癩病ニ對スル動物ノ感受性研究第三回報告(三二)、三二、合) ▲あくちのみいちの培養ニ就テ(全) ▲柴山君ノ「本年日本ニ於テ流行シタル虎列刺病ノ細菌學的検査報告ヲ批評ス(全) ▲肉又蚊第二回報告(全) ▲あみーば赤痢ノ原因問題(全) ▲明治三十六年大坂府ニ於ケル吐瀉患者糞便ヨリ得タル數種ノぐいぶりおニ就テ(全) ▲四日熱寄生体異同辨(三三) ▲あくちのみいちノ一例、附、其膿汁及顯微鏡の標本でもんすさちらにん(全) ▲流行性腦脊髄膜炎ニ就テ(全) ▲眠反應及ヒ皮膚反應ヲ同時ニ應用セシ動物結核ノ診斷(五〇)

## 第五 病理學及病理解剖學部門

○篤志解剖 (中谷誠一氏) 胸骨結核、全身諸部ノ結核、剖檢記事)

○嘔吐ニ因スル窒息死ノ一例

國分 金城  
松浦 啓三  
河村 多郎

○稀有ナル大腸腺腫 (附、一圖版、一圖)

久保 捨藏  
渡邊 九壽松

○老人弓ノ病理解剖學的補遺 (附、一圖版、二圖)

醫學博士 高安 右人 二〇  
河野 勇 譯

○骨萎縮ノ組織學的研究並其結果(膀内臓症、畸形性骨炎及關節炎)ニ就テ (附、三圖版、十九圖)

醫學博士 木村 孝藏 三一  
二一

○所謂葡萄狀神經瘤ニ就テ

東 良平 二四(未完)

○小腸肉腫ノ一例

小西 俊三 二九

○膽石例數ニ就テ

村上 庄太 三三

○結節狀増殖ヲ有スル肝臟殆ト全体ノ變造

ノ一例 (附、一圖版、三圖)

山崎 幹三

十全會雜誌部員譯

○心臟及脈管ノ先天性畸形ニ就キテ(附、二版圖、二圖、挿圖十)

小原芳雄 (三七—三九) (未完)

○Malignes Hypermephron (悪性副腎腫)ノ一例

渡 孚 貞 三

○火傷後ノ敗血症ノ一例ニ就テ(附一圖版、二圖)

橋木監次郎 兎

伊藤生 醜譯

△解屍統計報告

森岡惣太郎 三

△千九百〇二年ニ於ケル皮膚病學ノ病理學及

病理解剖學上ノ進歩

渡 邊 疆 三

△原發性腸結核?

渡 邊 疆 三

▲淋巴道ニ於ケル逆流轉移ニ就テ(七) ▲腎臟炎性水腫ノ原因ニツキテ(八)  
▲牛陰陽ノ三例(九) ▲結核症ト梅毒(一一) ▲再ビ癩菌ト結核菌ノ混合傳染  
ヲ有スル淋巴腺ニ就テ(二三) ▲肺ニ口虫ノ寄生スル肺臟ノ彈力纖維ニ就テ  
(三一、三二、三三) ▲本邦佝僂病ノ病理解剖論(全) ▲夢物語(全) ▲原發性肝臟  
癌腫兼籠形ニ口虫寄生ノ一例(全) ▲那々蟻虫ニ就テ(全) ▲多發性内臟肉腫  
標本供覽(全) ▲化膿性炎ニ於ケル彈力纖維ノ退行性變化ニ就テ(三三) ▲片  
山病ノ解剖(全) ▲「フィラリヤ」成虫(本邦發見ノ雄虫)ニ就テ(全) ▲氣泡腦  
器ニ就テ(全) ▲頭蓋腔内ニ生ゼルるもいどノ一例(全)

## 第六 內科學部門

○歇私的里ノ一例 高橋剛 吉一

○擇捉免拉爾ノ實驗 高橋剛 吉二

○痙攣性脊髓麻痺ノ一實驗 河合 鷹二

○實扶的里血清療法小實驗 岡田剛 吉二

○「エリュトロメラルギー」ニ就テ 藤井伊之吉 三

○先天性痙攣性關節強直症 Angeborene spastische Gliederstarreノ一例(挿圖四)

高橋剛 吉三

○心臟位置ノ破格ト肋膜炎合併ノ實驗 末岡外二郎 四

○肺結核ノ豫後ニ就テ 山 碕 幹 六

○腦動脈ノ栓塞ニ由ル半身不隨ノ一例 末岡外二郎 六

○急性大人脊髓前角炎ノ一例及其臨床的觀察 鈴木寛之助 六

○腎臟水腫患者ノ供覽 佐々木 遠 九

○「アテトージス」ト舞蹈病ニ就テ並ニロイベ

氏及ベルンハルト氏ノ所謂移行例ノ實見

八田 外二九

○乳糜尿ノ實驗 津 川 恒二〇

○神戸ニ於ケル「ペスト」患者ニ就テ

森 島 彦 夫 二

○一種ノ發作性「ヒステリー」性震顫ノ一例

藤 井 助 雄 二

○乳糜尿患者實驗追報

津 川 恒 二

○腦脊髓多發性硬化症ノ一例

松 本 政 長 二

○十二指腸蟲患者ノ必發的症候ノ價值ニ就テ

田 中 正 鐸 二

○臺灣守備兵血球調查報告 附熱帶貧血ニ就テ

永 井 環 二

○顔面筋ノ侵襲ヲ被リタル筋病性進行性筋肉萎縮

野 口 詮 太 郎 二一三

(デジエリン、ランツチー氏筋肉萎縮)ノ一例

眞 柄 佐 一 郎 二四一五

○實驗瑣談(其一)……………雜纂欄

鼻茸ノ摘出ニヨリテ治癒シタル「エリトロメ

ラルギー」ノ一例 下 平 南 溪 三

○十二指腸虫病ニ就テ 米 村 吉 太 郎 三(合)

○筋病性進行性少年性筋肉萎縮ノ一例 眞 柄 佐 一 郎 三(合)

○黒水熱ニ就テ

中 川 幸 庵 三

○臺灣ニ於ケル「フィラリヤ」性乳糜血尿ノ一例

中 川 幸 庵 三

○先天性心臟病(先天性肺動脈口狭窄等)ノ一例(挿圖一)

齋 藤 傳 平 四

○單姿勢不定症(Monothetose)ノ一例

松 浦 龜 太 郎 四

○慢性下痢ノ療法ト牛乳ノ關係(附、二表)

岩 砂 鈴 次 郎 四

△臨牀上ニ於ケル醫事斷片

▲舌苔ニ就テ▲脚氣ノ一奇妙ナル治療ニ就テ

▲ババンスキー氏反射▲腸管ノ寄生虫診斷

諸 橋 嘉 久 次 二五

△肝硬變症ニ併發セル慢性赤痢ノ一例

酒 井 利 勝 三

△在臺實驗

(三)麻刺利亞ニ併發セル膿胸ノ一例

中 川 幸 庵 四

△肺「チストマ」ニ就テ

渡 邊 つ と む 四

△肺癆ノ臨牀上病期分類ニ就テ

小 原 よ し 生 四

▲腸「チブス」ニふせちんノ應用(一) ▲腸室扶斯(全) ▲貧血及萎黃病ニ脾臟越幾斯ノ應用(二) ▲疼痛點ノ壓迫ヲ以テ坐骨神經痛ヲ治療シタル成績(全) ▲腦梅毒ノ治療法ニ就テ(全) ▲歇斯的里性喉頭運動障害ニ就テ(全) ▲歇私帝里性失音ノ治療法(全) ▲肝硬變症ノ治療法(三) ▲脊體勞ト梅毒トノ關係(全) ▲レローシエル氏法ヲ以テスル肋膜炎療法(全) ▲常度下体温(四) ▲膝蓋腱反射消失ノ診斷的價值(全) ▲ひすてりー性假面間欠熱(五) ▲僧帽辨口狹窄ニ伴ヘル再歸神經麻痺(全) ▲胃中せるらつく石ノ一例(全) ▲胃患者ノ海水浴ノ作用(全) ▲腸室扶斯ノ血清療法(六) ▲牛ノ脾臟及ヒ骨髄ヲ用フル慢性まらりあ療法(全) ▲沃度加里ノ初期肺結核ニ對スル反應(八) ▲肝下緣(肝影)ノ視診ニ就テ(全) ▲呼吸ニ際シ胃及腸界ノ視診ニ就テ(全) ▲胃ノ機能検査上よびんノ應用(一〇) ▲掌蹠症狀ニ就テ(全) ▲肺結核ノいびぞーる療法(一五) ▲梅毒ト脊髄癆及進行性麻痺トノ關係ニ就テ(一九) ▲癩麻質斯性紫斑ノ固有ナル一例(二〇) ▲肺炎患者ノ血液中ニ存スル么微生體ノ研究(二一) ▲種痘ニ就テ(全) ▲肺炎患者ノ血液中ニ存スル么微生體ノ研究(二一) ▲アダムスキウヰツ氏かんくろいんノ良効アリタル一例(全) ▲助間發音現象ニ就テ(全) ▲肺癆患者ニ於ケル盜汗ノたんのふるむ療法(全) ▲早期梅毒ニ於ケル急性赤色(黃色)肝臟萎縮ノ一例(全) ▲外傷性すべーと、あほぶれきしーノ一例(全) ▲半身不遂後ノ關節病(全) ▲產褥中ニ於ケル淋疾性心内膜炎ノ報告(全) ▲大動脈瘤ニ伴フ軀幹ニ於ケル他覺的證明シ得可キ知覺異常ニ就テ(全) ▲疣狀心内膜炎ニ合併セシ腦出血ニ就テ(全) ▲浴後ノ蛋白尿ニ就テ(二三) ▲滲出性肋膜炎ノ甚ク早キ一症候(全) ▲肺結核ニ於ケル出血性紫斑病(二四) ▲神經衰弱性神經痛ニ就テ(二六) ▲虫様突起炎ニ於ケルルろいこちてんノ關係(二七) ▲急性梅毒性腎臟炎(全) ▲淋菌肺炎ノ一例(二八) ▲徽毒性胃腸病ノ一新例報告(全) ▲徽毒ニ基因スル單尿崩症(全) ▲垂胃ト大胃ニ就テ(三一、三二、合) ▲糞便検査ニ於ケル寄生虫第一統計報告(全) ▲肺ちすこま病ノ一實驗(全) ▲稀有ナルまらりやノ一例(全) ▲十二指

腸虫患者ノ乳糜血尿癩症狀ヲ呈シタル一症例(全) ▲破傷風患者血清注射ノ一實驗(全) ▲亞斯必林ノ効果ニ就テ(全) ▲めんとーる吸入療法ニ就テ(全) ▲脚氣豫防ノ特效藥(全) ▲通俗脚氣ノ病理(全) ▲兩側顏面神經麻痺ノ一例(全) ▲肺炎ノ豫防法ニ就テ(全) ▲余ノてんぐ熱所見(全) ▲日本ニ於ケル糖尿病人ニ就テ(全) ▲大根ノ應用(全) ▲山梨縣ノ地方病ナル肝脾肥大症ニ就キテ(三三) ▲腸室扶斯ニびらみどんノ應用ニ就テ(全) ▲船暈病ニ對スル余ノ處方(全) ▲血友病ニ就テ(全) ▲流行性腦脊髄膜炎ニ就キテ(全) ▲貧血患者ノ胃液ニ就キテ(全) ▲脚氣腎臟機能試驗ニ就テ(全) ▲天然痘ニ於ケル漿液面ノ變化(全) ▲佝僂病ノ一例(全) ▲パセドー氏病ニ就テ(四八) ▲結核性腹膜炎ニ於ケル食糧減少食餌療法ニ就テ(五〇) ▲船暈ノ原因(全)

### 第七 外科學之部

- 先天性畸形一束(附、二圖版、八圖)
  - 木村孝藏 一
  - 松本善次郎
- 膀胱結石検査法(附、二表)
  - 木村孝藏 二
- 骨折、脱臼ト年齡ノ關係
  - 番場友平 六
- 「ツラール、インフゾン」ニ就テ
  - 東良平 一元
- 盲腸ニ因スル左側外鼠蹊「ヘルニヤ」
  - 北川健三 一九
- 脚氣ニ併發セシ多發性化膿性筋炎ノ一例

野口詮太郎 三〇  
北川健三 三〇

○吐糞症ノ一例ニ就テ  
病的結石ニ對スルロ<sup>エント</sup>ゲン氏X放散線ノ  
診斷の價値ニ關スル一研究(挿圖二)

鈴木寛之助 三一  
脊椎結核ノ治療法ニ就テ(挿圖一)

醫學博士 木村孝藏 三一  
臺灣ニ於ケル嘔囉仿謨麻酔ニ就テ

野口詮太郎 三三  
盲腸歇兒尼亞ノ實驗例追加 東良平 三三

○「アクチノミコーゼ」患者及標本ノ  
「デモンストラチオン」 三股梅吉 三三

○橫隔膜破裂ノX放線診斷(挿圖二)  
吉田幡誠 三三

○骨膿瘍ニ就テ  
藤井亥之吉 三三  
山本長助 三三

△古加因局處麻酔法ノ進歩  
生沼曹六 三四

△先天性二指闕損症ニ就テ  
高橋常作 三三

△頭部並ニ前膊ニ於ケル肉腫ノ一例(附、一圖版、二圖)  
佐藤潮 三三(合)

▲淋毒性膝關節炎ニ就テ(五) ▲肝臟囊腫ノ一例(八) ▲めたくれぞーる、あにこーるノ丹毒療法ニ就テ(全) ▲生後五日ヲ經シ處女ノ直腸膀胱閉鎖(九)

▲風土性橫痃ニ就テ(一五) ▲最幼齡者ニ於ケル痔核(全) ▲所謂木棲蜂窩癩炎(一八) ▲丹毒治驗(全) ▲煮タル腸線ニ就テ(二〇) ▲溫熱ニ由テ生セシメタル局處充血ノ慢性及傳染性潰瘍諸症ニ對スル治効ニ就テ(全) ▲結核性淋巴腺腫ニ就テ(全) ▲猩紅熱及爾他傳染病後ニ發シタル腕及脚ノ壞疽ニ就テ(二一) ▲銀ノ制腐の効力ニ對スル補遺(全) ▲原發性筋結核症ニ就テ(二二)

▲癩ノ稀有ナル合併症(全) ▲淋疾性關節炎ノ療法(二三) ▲丹毒ノ原因ニ就テ(二四) ▲丹毒ニ沃度丁幾(全) ▲耳下腺炎ノ如キ症狀ヲ呈シタル急性沃度中毒(全) ▲肛門裂創ノ療法(全) ▲ころらるこーるノ靜脈内注射ヲ以テスル腐敗性疾患ノ療法(二七) ▲泌尿器病ノ實地ニ於ケルあれかりん(全) ▲瘰癧ニ對スル一新法(全) ▲早期ニ於ケル乳腺梅毒(二八) ▲絶望的大出血ノ場合ニ於ケル止血藥トシテノあれかりんノ使用ニ就テ(全) ▲甲状腺ノ結核(結核性甲状腺腫)(全) ▲膀胱結核及其療法(全) ▲初期肺癆ノ手術の療法(三一、三二、合) ▲慢性脛骨炎ノ患者ニ付テ(三三) ▲潜伏性水腎ノ急性染毒ノ一例(全) ▲鞣齒嚙下ニ就キテ(全) ▲疊積嚙脫ノ一例(全) ▲乳腺結核ノ一例(全) ▲下顎脫臼ニ就テ(全) ▲小口徑銃ト死傷數トノ關係(全) ▲石炭酸かゝるノ外科的感染ニ對スル効用(三九) ▲日露戰爭ニ於ケル血管損傷及外傷性動脈瘤(全) ▲化膿性腦膜炎ノ外科的療法(全) ▲一般外科ニ於ケル浸潤麻酔ニ就テ(四八)

### 第八 眼科學部門

○眼球結膜ニ於ケル色素性肉腫ノ一實驗(附、一圖版、二圖)

高安右人 一

○徴兵検査ノ視力試験ノ管見 岡本京太郎 四

○近視眼手術ニ就テ 高安右人 五

○網膜剝離治療 高安右人 九

○眼險軟骨ニ於ケル管狀葡萄狀腺ニ就テ (附、一圖版、一圖) 醫學博士 高安右人 二九―三〇

○虹彩之肉腫 (附、一圖版、一圖) 醫學博士 高安右人 四一

○白点狀網膜炎之實例 (附、一圖版、二圖) 醫學博士 高安右人 四二

○奇異ナル網膜血管之變狀ニ就テ (附、一圖版、一圖) 醫學博士 高安右人 五〇

○柔道ニ誘發セル網膜穿孔ニ就テ 醫學博士 高安右人 五〇

○白点狀網膜炎之二例 (附、一圖版、三圖) 醫學博士 高安右人 五〇

△美甘氏ノ「眼險成形小技」ヲ讀ム 岡本京太郎 一

△蛋白尿性網膜炎ノ一例 朝倉重敏 三

△眼科ノ統計 T W 生 四〇

▲化膿性結膜炎ノ療法(一) ▲先天性葡萄膜炎ノ一例(二) ▲固視野外ニ現ハル、複視ニ就テ(三) ▲角膜及結膜ニ多發セル新生物ニ就テ(四) ▲近視手術ニ就テ(八) ▲綠内障ノ本性及本症ニ虹彩切除ノ奏効アル理由(全) ▲眼科ニ於ケルいひちおゝる及いひたるびん(全) ▲初生兒膿漏眼ノらるぎん療法(二〇) ▲哺乳兒ニ於ケル角膜軟化症ノ療法(全) ▲老人環ノ病理的解剖ニ就テ(三一、三二、合) ▲核外性眼筋麻痺ノ一例附、感冒急性出血性上腦灰白質炎?(全) ▲眼險象皮腫實験一例(全) ▲小淚管菌石ニ就テ追加(全) ▲眼部帶狀(へるべす)ノ二例ニ就テ(全) ▲脚氣ニ於ケル異形ナル視野ノ欠損(全) ▲徴兵検査ニ際セル眼科的觀察(全) ▲對馬ニ於ケル小學生徒ノ眼科的検査小報(全) ▲高度近視眼底ニ於ケル(はくたじ)ノ一例(全) ▲涙道吸引作用ニ就テ(全) ▲檢眼鏡發明ノ期日(全) ▲膿漏性結膜炎ヨリ轉移セル關節炎ノ一例(全) ▲化膿性轉移性眼球炎ノ一例(全) ▲最稀有ナル眼窩腫瘍ノ一例(全) ▲眼險下垂症ニ對スル河本氏手術式ノ効價ニ就テ(全) ▲糖尿病性白内障ニ併存セル虹彩ノ變質ニ就テ(全) ▲結膜下注射療法ノ一實験ニ就テ(全) ▲鉗子分娩ニ因スル初生兒ノ眼障害ニ就テ(全) ▲京都盲啞院盲生調査報告(三三)

▲田代氏ノ所謂土佐地方病ニ就テ鄙見ヲ述ブ(全) ▲顆粒ナキ梅毒性するつ様眼險結膜炎ニ就テ(全) ▲外傷性眼球陷沒症ノ一例(全) ▲線狀角膜炎ノ成立ニ關スル他ノ機轉ニ就テ(全) ▲余ノ暗室ニ就キ(全) ▲眼障碍ニ因ル頭痛(……) 讀書餘錄其一…… 雜纂欄、小原よし生(全)

### 第九 産科、婦人科學部門

○妊娠ニ兼スル卵巢囊腫ノ實驗

白井精 一  
藤岡勝 二

○三省録

(一)膀胱充溢ヲ卵巢囊腫ト誤診セシ一例

岡本京太郎 二

○月經閉止後ニ於ケル腔痙攣ノ實驗

中村 顯三

○左側卵巢ヨリ發生セシ纖維筋腫ノ一例

渡 孚 貞 五十六

○處女膜閉鎖ニ由ル腔血腫ノ一例

廣野喜久雄 六

○婦人ノ腹水

岡田 剛 吉 七

○膀胱充満ト腫瘍トノ誤診實例

藤岡 勝 治 七

○兩側卵巢囊腫ノ一例

吉川 砥直 九

○六箇月妊婦ノ卵巢皮様囊腫摘出治驗

高田 範國 一〇

○一部性後屈子宮妊娠ニ因スル膀胱充満ノ一例

藤岡 勝 治 三

○子宮外(腹腔)妊娠ノ一例 (附、一圖版、三圖)

小川 勝 陳 閱  
關屋林之助 (三合) 一五

○兩側卵巢纖維腫ノ一例

森田 齋次 二八

○子宮纖維筋腫ト多房性卵巢囊腫併發症ノ一例

越野義三郎 二六―二九

○處女ニ於ケル卵巢肉腫ノ一例

越野義三郎 二七

○脫胎ニ用ヒシ異物ノ一例

諸角友平 (三合) 三〇

○橫位分娩ノ一例

藤岡 勝 治 三三

○急性羊膜水腫症ノ一例

平田 一若 三三

○兩側性卵巢囊腫ニ妊娠ヲ兼タル者ニ開腹術ヲ施シタル一例

八田 智 證 三三

○死後八週(?)ヲ經テ娩出セル女性胎兒ノ一例

八田 智 證 三四

○子宮筋腫ト子宮癌腫トノ統計的比較第一回調査報告

小川 勝 陳 三五―三六

○北國婦人ノ月經初潮年齢ニ就テ

八田 智 證 三六

○巨大ナル子宮粘液纖維性筋腫ノ實驗

小川 勝 陳 閱

八田 智 證 (四合) 三九

△卵巢腫瘍剔出術傍觀記事 河 合 鷹 四〇

△乳嘴腫ヲ兼テタル卵巢囊腫ノ「エヌクレアチオ」



武田 正壽 八

△分娩後十ヶ月間胎兒頭骨片ノ腔内ニ存留セシ一例

G K 生 三六

△實驗一束(産科臨床上ノ) 八 田 生 三三(合)

△一卵性双胎ニ發シタル急性羊膜水腫ノ一例

小川 勝 陳 閱

猪木 彦 助 述 三

▲正規分娩ニ依的兒麻酔ノ應用(二) ▲子宮内膜炎ノ蒸氣療法(全) ▲齒牙疾病ト女子生殖器ニ於ケル關係(七) ▲肺炎菌ニ因ル產褥中ノ傳染ニ就テ(全)

▲筋腫切除術ノ適應症及ヒ禁忌(全) ▲異常ノ毛髮發生及ビ重複子宮(八) ▲子宮及ビ其副器ノ手術後ニ來レル精神病ニ就テ(全) ▲卵巢囊腫ト誤診セラ

レタル脾臟ノ格外肥大(全) ▲接外五件ノ開腹ノ前後(一一) ▲一部份後屈子宮妊娠ニ分娩時ノ特發性破裂(一三、一四、合) ▲外陰部ノ原發性實布帝里

(一八) ▲流産ニ就テ(三一、三二、合) ▲妊娠婦ノ嘔吐症ニ就テ(全) ▲子宮外妊娠ノ七例(全) ▲子宮外妊娠並ニ其胎兒及附屬器ノ異常ニ就テ(全) ▲產褥

ニ於ケル急性多發性神經炎(全) ▲產褥子痲(全) 難産ニ因スル稀有ナル膀胱破裂症ノ一例(全) ▲急性羊膜水腫ノ實驗(全) ▲臍帶ノ纏絡ニ就テ(三三) ▲

雙胎ニ就テ(全) ▲普通位置ニ於ケル胎盤早期剝離(全) ▲眼さらほむノ腔内傳染ヲ論シテ世人ノ注意ヲ望ム(全) ▲初生兒鞏硬症ノ一例(全) ▲難産ニ

因スル腔管閉鎖ヲ兼ヌル複雑膀胱腫瘍ノ稀有ナル治驗ノ一例(全)

## 第十 小兒科學部門

○佝僂病ニ就テ(附、一圖版、三圖) 藤井伊之吉 四

○高度ノ佝僂病實見(附、一圖版、二圖)

高松 岩 吉 一〇

○種痘ニ就テ

醫學博士

時國 良 作 三

○佝僂病ニ就テ

木村 孝 藏 一九

○先天梅毒ニ因スル脊髓病

岡本京太郎 三三(合)

○所謂「胎毒下」ノ弊害

岡本京太郎 三三

○石川縣羽咋郡菅池地方ニ於ケル奇病調査報告(附、三圖版、五圖及四表)

岡本京太郎 四二

○風疹ノ流行

▲幼兒ニ於ケル卵巢歇爾尼亞莖捻轉(九) ▲生後十五日ノ小兒ノ脊髓性小兒麻痺ノ治癒(全) ▲百日咳ニおひにん(一〇) ▲麻疹早期診斷トシテゴブリ

ツク氏ノ症狀(一一) ▲夜中遺尿ノ按摩療法(二〇) ▲小兒腸管扶斯ノ一小實驗(三一、三二、合) ▲所謂腦膜炎ノ大便検査ニ就テ(全) ▲小兒氣管支肺一ノ

療法(三三) ▲全身異常肥滿ニ伴フ小兒ノ視神經消耗ノ一例(全) ▲初生兒脚氣ノ一例(全) ▲小兒期ニ於ケルビルケ―氏ツべろくりん皮膚接種法(五〇)

## 第十一 耳鼻咽喉科學部門

○纖維素性鼻炎ニ就テ

川北 辰 吉 二

○鼻病ヲ論ズ 本田 三郎 四一三

○咽頭扁桃腺肥大症ノ切除ニ依テ治癒セル

夜尿症ノ三例 本田 三郎 三

○耳根治手術後ニ於ケル二個岩様骨ノ病理的所見

ヲ述ベテ其被皮機轉ト後ノ聽覺ニ及ボスベキ影

響ヲ論ズ(附、二圖版、三圖) 濱地 藤太郎 四七(合)

○巨大ナル鼻茸ノ三例 今井 亥三 五〇

△學齡兒童ノ聽器検査ニ就テ 下平 用彩 一七

△鼓膜穿開術ニ就テ 今井 亥三 三〇

▲脚氣ニ因スル喉頭浮腫ノ追加一例(一七) ▲慢性中耳化膿ノ氣熱療法(二

〇) ▲喉頭及鼻咽頭鏡ノ消毒竝ニ鏡面曇霧ヲ避ケル簡易法ニ就テ(全) ▲丹

毒連鎖球菌ノ作用ニ因ルにちぢふノ治療(二一) ▲精神病者ノ耳血腫ニ就テ

(二四) ▲ばらふる入ノ皮下注射ニ因ル鞍鼻ノ矯正法(二六) ▲治療シタル微

毒性兩側筋麻痺ノ一例(二八) ▲鼻硬腫性茸腫及鼻硬腫診斷ノ實驗法ニ就テ

(全) ▲耳性膿瘍ニ就並ニ其ノ一治驗(三一、三二、合) ▲喉頭結核ノ療法(全)

▲ハイメル氏寶蓄膿症ノ治療法ニ付テ(三三) ▲齒科口腔科ニ於ケル發熱ノ

診斷的價値(全) ▲齒眼腫(全)

### 第十二 皮膚病、花柳病學部門

○實驗瑣談(其一)……………雜纂欄

(一)殆ンド全頭髮ヲ侵シタル結節性裂毛症

(二)汎發性暈皮病ノ一例

(三)蕁麻疹性紫斑

下平 南 溪 二

○實驗瑣談(其二)……………雜纂欄

(四)急性限局性皮膚水腫ノ一例

下平 南 溪 二

○晚發性遺傳梅毒ノ一例

齋 藤 義 雄 一

△皮膚病學ニ於ケル顯微鏡的技術

南 溪 生 三(未完)

▲按摩法ニ依ル慢性淋疾ノ合理的療法(一五) ▲淋毒性副睪炎ノ熱療法

(全) ▲乳兒ノ血管性母斑ニ對スルちぢむ(全) ▲淋毒性儘

麻質斯ノ療法(一七) ▲溫疹ノふたらん療法(全) ▲白癬ノふおるまりん療

法(一八) ▲重症ノ永毒性發疹ニ就テ(一九) ▲疥癬ニふおるまりん試

法(二〇) ▲塗擦療法ニ於

ケル水銀吸收ノ實驗的試驗(全) ▲糠秕性、脂漏性及早期性禿髮症ノ療法ニ

剃髮ノ効用(全) ▲ふおるまりん濕疹(全) ▲赤色日光内ニ於ケル濕疹ノ治療

(全) ▲梅毒ノ被保人ノ死亡數ニ及ボス影響ニ就テ(全) ▲梅毒ノ注射療法ニ

就テ(全) ▲痒疹ノ病性ニ就テ(二一) ▲小兒鼻皮膚ニ生シタル一種ノ疾患ニ

就テ(二二) ▲尿道絲内ニ於ケルこのこっけんノ證明(二三) ▲淋疾性關節俱

○輪癬及ビ頭癬ノ療法ニ就テ 岡 部 忠 二

麻質斯ニ侵サレタル腕上ニ贅毛症ヲ發シタル一例(全) ▲白癬及其療法(全)  
 ▲梅毒ヲ家猪ニ傳播セシム可キ試驗ニ就テ(全) ▲外陰部癢痒症ノ原因及療法(二四) ▲後頭部ノ原發性皮膚放線狀菌病(全) ▲水楊酸汞注射後死亡セル水銀中毒ノ一例(二六) ▲副單丸炎性膿瘍内ニ於ケル淋疾球菌陽性所見ノ一例(二七) ▲軟性潰瘍ノ療法(全) ▲ロゼットケン光線透射後ニ發シタル皮膚萎縮ノ一例(全) ▲淋疾性ノ皮膚潰瘍ニ就テ(二八) ▲男性小兒ノ淋疾性尿道炎ニ就テ(全) ▲結節性膿疱性及潰瘍性臭素皮膚疹ニ就テ(三一、三二、合) ▲疥癬藥トシテノでしんふゑくさゝる(全) ▲淋毒性バルトリニ―氏腺炎ニ就テ(全) ▲婦人ノ軟性下疳ニ就テ(全) ▲歇私的里患者ニ發生セル再發性猩紅疹様紅斑(三三) ▲淋病ト家庭ト(全) ▲男子ノ健康尿道ニ於ケル連鎖狀球菌ノ存在ニ就テ(全) ▲天疱瘡ニ就テ(全) ▲讀書餘錄II 賢笑婦ノ變質徴II (雜纂欄)(全)

### 第十三 衛生學部門

○校舍及寄宿舍空氣中炭酸含量並ニ換氣量試驗報告

北 豐 吉  
 駿 河 尚 庸 二四

△熱氣消毒室

大 澤 五 月 一

△金澤地方防癩私見

生 沼 曹 六 七

▲室内ニ濕氣ノ有無ヲ知ル一便法(一) ▲赤痢病發生傳播ノ原因(全) ▲書籍

ニ因スル傳染病芽ノ運搬(七) ▲體操法中一二の點を改正せられん事を請ふの議(一五、雜錄欄) ▲種痘ニ就テ(二〇) ▲屍骸ニ因ル窒扶斯ノ傳染(全) ▲北豐吉氏「ドクトル」學位請求論文(米飯ノ么微生體及ビ腐敗ニ就テ)ノ梗概(三一、三二、合) ▲腸窒扶斯傳染經路ニ就テ(全) ▲新式種痘術ノ普及ニ就テ會員諸君ニ望ム(三三) ▲飯料水ノ清潔法ニ就キテ(全) ▲ウヰンゲン氏室内光力計(全)

### 第十四 法醫學部門

○二回放火未遂犯者ノ鑑定實例

森 島 彦 夫 一

○謀殺未遂犯鑑定實驗、「モルヒネ」中毒

澤 田 定 信 二

○鑑定ノ結果ヨリ及ボス法律ノ適用

永 野 正 路 五

○偽官鑑定實例

渡 淳 貞 七  
 一八

○稀有尖器(挿圖、一)

渡 淳 貞 三  
 一八

○放火事件ニ因スル偏執狂ノ鑑定例

村 上 庄 太 一  
 三(合)

○X線ノ法醫學的應用實例(附、一圖版、三圖)

太 田 精 一 一  
 九

○血痕検査ニ於ケル一二物料ト「ヘミン」結晶

太 田 精 一 一  
 九

ノ關係ニ就テ

村上庄太 二五

▲囚人詐病論(三一、三二、合) ▲聽器毆打ノ鑑定例(全) ▲法醫學上鑑定實例(全)

### 第十五 治療學及其他雜部門

○按摩術ノ醫療上應用ニ就テ 下平用彩 二一—二三(合) 七八—九一

○ロェトケン氏X線ノ臨床的價値 鈴木寛之助 二八—三〇 一三一—一三二(合)

△光線療法 山 碯 幹 四

△煖灸法ニツキテ(一種ノ消炎法) 林 秀 雄 四(合)

△醫師モ亦政事的思想ナカル可カラズ 山田 謙 治 三

▲護謨性物品貯藏法(一) 寤睡ノ常態ニ就キテ(三一、三二、合) ▲催眠術ノデもんすとりちん(全) ▲催眠術ノ治療上價値(全) ▲催眠術ト國家醫學トノ關係(全) ▲最高學府名實(全) ▲現代醫人ノ本領(全) ▲千八百十二年拿破崙第一世露國侵入時ノ軍隊病類(三三) ▲心理學ト醫學(全)

### 第十六 藥學部門

○鹿角精ニ就テ 櫻井小平太 一

○化粧石鹼定量試驗成績 林 常 雄 一

○結麗阿曹篤並ニ偏亞蒞箇兒ニ就テ 松ヶ枝 眞九郎 一

○裁判化學ノ一況ニ就テ 高山 基 重 三

○櫻井小平太 五

△磷酸ノ容量的定量法ニ就テ 佐藤 拾 三 郎 二

△ベネヂクト氏脂肪類及蠟種ノ分析 金谷 彦 次 譯 三—三三

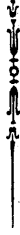
△煙草ニ就テ 木 下 貢 一六

△阿片中莫兒比涅含量ヲ定量スル新法ニ就テ 清水 末 吉 二六

△植物分析上ニ於ケル一般浸出法 大岩 小 一 郎 五〇

▲嚼囉仿謨ノ分解ヲ防ケ法(一) ▲沃度仿謨ノ臭氣ヲ除去スル法(全) ▲發火財源ニ就テ(一二) ▲林檎鉄越幾斯及林檎鐵丁幾ニ含マレタル鐵ノ定量法(全) ▲答滿林度實ノ重要成分及其定量法ニ就テ(全) ▲亞硝酸ニ就テ銳敏ニ

シテ且ツ簡單ナル反應(二三、一四、合)▲裁判化學ニ關シテノ說(全)▲尿  
 中水銀ノ鑑識(一六)▲茶葉中鞣酸ノ定量法(全)▲葡萄酒釀母及粗製酒等ノ  
 中ニ於ケル酒石酸ノ定量法(二二)▲蔗糖ノ檢定ニ就テ(全)▲礫酸鹽中ニ於  
 ケル硼酸ノ檢定ニ就テ(全)▲植物組織中ニ於ケル砂糖ノ顯微鏡的檢定ニ就  
 テ(二六)▲硫酸銅紙ニヨル安母尼亞ノ檢定(全)▲硫化水素ノ檢定ニ就テ  
 (全)▲珈琲混及ておふるみんノ分離並ニ定量ニ就テ(二七)▲偪里設林中ニ  
 於ケル砒素ノ檢定(全)▲弗蘭備刺皮及かすから、さくらだ皮ノ有効成分ノ  
 定量ニ就テ(二八)▲尿中大黃ノ檢定(全)▲華孺林中他ノ脂肪ノ檢定ニ就テ  
 (全)▲こんぢゆらんノ流動越幾斯ニ就テ(三一、三二、合)▲ぐるこーゼトま  
 るこーゼトノ分離法(全)▲飲料水中ノ硫酸銅(全)▲新發見ノ護謨ノ樹(全)  
 ▲檀上氏ノ糊帶液(三三)▲へろいんと莫爾比混ノ區別(三三)▲亞爾簡保兒  
 ノ呀囀仿誤上ニ致ス保貯作用(全)▲ちあすたーゼニ就テ(全)▲蛋白質ノ呈  
 色反應ニ就テ(四九)▲裁判化學上極メテ微量ナル銀ノ檢出(全)▲全上色素  
 中ニ存スル極メテ微量ナル砒素ノ檢出(全)▲ふたのーるノ定量(全)▲空氣  
 中ニ於ケルほるむあるでびつどノ定量(全)▲麩包中ノ脂肪定量(全)▲肝油  
 ノ新反應(全)▲染色セル尿ノ格魯兒定量(全)▲ふらんぐら皮並ニかすから  
 さくらだ皮ノ有効成分(全)▲莖葉末ノ顯微鏡的試驗ニ就テ(全)▲規尼混ノ  
 檢定ニ就テ(全)



第貳篇

原著及  
實驗  
實纂  
雜纂

物件索引

〇ア

悪性副腎腫

Malignes Hypernephrom ( )ノ一例

三八

あくちのみこーぜ 放線状菌病

患者及標本ノ「デモンストラチオン」

三八

あてとーじす 姿勢不定症

ト舞蹈病ニ就テ竝ニロイベ及ベルンハルト氏ノ所謂移行例ノ實見

九

單姿勢不定症(Mono )ノ一例

四二

あのふねれすー肉叉蚊

江田島産ノ研究(第一回)

二五

Untersuchungen über die Malaria übertragenden Stechmücken, " auf der Insel Etajima in

三三

Japan.

岐阜縣大垣町ニ於ケル

ニ就テ、附、金澤市

ニ於ケル

四九

阿片

中莫爾比混ヲ定量スル新法ニ就テ

二八

按摩術

ノ醫療上應用ニ就テ

七一八―一九  
一一―一二

〇イ

醫師

モ亦政事思想ナカルベカラス

二一

いうぶらゝる

新催眠薬「ウエロナール」及ニ就テ

四四(合)  
四五(合)

遺傳

遺傳梅毒

三八

遺傳梅毒

晩發性ノ一例

四八

異物

脱胎ニ用ヒシノ一例

三一(合)  
三二(合)

咽頭扁桃腺肥大症

ノ切除ニ依テ治癒セル夜尿症ノ三例

三八

〇ウ

ウイダール氏凝集反應

ニ就テ

八一九

うねろなる

新催眠薬及「イソブラル」ニ就テ

四四(合)  
四五(合)

○エ

腋窩動脈

剖觀上ノ——畸形

二二

江田島

……あのふえれすチ見ヨ

X放線

ロレントゲン氏ノ——臨床的價値

七—八—一〇—  
二—一—三(合)  
一—四

ノ法醫學的實例

一九

病的結石ニ對スル——ノ診斷的價値ニ關スル

一研究

二—一—二二

横隔膜破裂ノ——診斷

四一

わりどころめらるざー

ノ實驗

二

ニ就テ

三

鼻茸ノ摘出ニ由テ治療シタル

ノ一例(實驗  
瑣談)

二七

○オ

横位分娩

ノ一例

三三

横隔膜破裂

大垣町

ノX放線診斷

四一

あのふえれすチ見ヨ

嘔吐

——ニ因スル窒息死ノ一例

四

○カ

外鼠蹊へるにや

盲腸ニ因スル

一九

開腹術

……卵巣囊腫、妊娠ヲ見ヨ

學齡兒童

ノ聽器検査ニ就テ

一七

解屍統計

報告(金澤醫學專門學校  
病理教室ニ於ケル)

二八

解剖

篤志——(剖檢記事)

三

懷孕

——ト男女性トノ關係

一一

火傷

——後ノ敗血症ノ一例ニ就テ

四九

脚氣

——ニ併發セシ多發性化膿性筋炎ノ一例

二〇



——ノ一奇妙ナル治療ニ就テ（臨床上ニ於ケル醫事斷片）

——病論

神奈川縣……………ベすとヲ見ヨ

金澤……………癩、頭蓋、あのおふえれすヲ見ヨ

眼科

——ノ統計

換氣量

校舎及寄宿舎空氣中炭酸含量並ニ——ノ試驗報告……………二四

眼球結膜

——ニ於ケル色素性肉腫ノ一實驗

眼臉成形術

美甘氏ノ——小技ヲ讀ム

眼臉軟骨

——ニ於ケル管狀葡萄狀腺ニ就テ

肝硬變症

——ニ併發セル慢性赤痢ノ一例

關節炎……………畸形性關節炎、骨萎縮ヲ見ヨ

頑癬

輪癬及ヒ——ノ療法ニ於テ

癌腫……………子宮癌腫ヲ見ヨ

肝臟

結節狀増殖ヲ有スル——殆ンド全体ノ變造ノ一例

鑑定……………放火、謀殺、法律、偽盲、偏執狂ヲ見ヨ

二五

五〇

四〇

二四

一

一

二九—三〇

三五

二

三六

顏面筋……………筋肉萎縮ヲ見ヨ

顏面神經

——ハ果シテ單純運動性ナル歟

岩様骨……………耳根治手術、聽覺ヲ見ヨ

二七

〇キ

畸形……………先天性畸形ヲ見ヨ

尺骨動脈ノ——（淺在尺骨動脈ノ一種）

剖觀上ノ腋窩動脈——

畸形性關節炎……………骨萎縮ヲ見ヨ

畸形性骨炎……………空前

寄生虫

腸管ノ——診斷ノ注意（臨床上ニ於ケル醫事斷片）

奇病

石川縣羽咋郡胃池地方ニ於ケル——調査報告

偽盲

——鑑定實例

牛乳

慢性下痢ノ療法ト——トノ關係

急性眼局性皮膚水腫

——ノ一例（實驗）

凝集反應

二〇

二二

二五

四二

七一—八九

四八

二七



ウイグール氏——二就テ

八一九

鞏皮病

汎發性——ノ一例

二四

局處麻酔法

古加因——ノ進步

四

筋

副長懸趾、副腓腸、長掌筋、上臚ヲ見

筋炎

脚氣ニ併發セル多發性化膿性——ノ一例

顏面筋ノ侵襲ヲ被リタル

(アツエリン、ランツヤ—氏筋肉萎縮)ノ一例

少年性——ノ二例

近視眼

手術ニ就テ

筋腫

卵巢、子宮、纖維性、粘液纖維性筋腫ヲ見

### 〇ケ

佝僂病

奇病ヲモ見

高度ノ——實見

結麗阿曹篤

二就テ  
一〇  
一九

及偲亞藪個兒ニ就テ  
ノ下熱作用ニ就テ

三  
四六(合)  
四七(合)

嚼囉仿謨麻酔

臺灣ニ於ケル——ニ就テ

二二

### 〇ケ

痙攣性脊髓麻痺

ノ一實驗  
先天性痙攣性關節強直症ノ一例

二

結核

肺、脊椎、腸結核ヲ見

血球調査

臺灣守備兵——報告附、熱帶食血ニ就テ

二二—二三

月經閉止

北陸婦人ノ——年齡ニ就テ

血痕検査

後ニ於ケル臈痙攣ノ實驗  
ニ於ケル「二物料ト」ヘミン「結晶」ノ關係ニ就テ

血清療法

虎列拉、實布帝里血清療法ヲ見

結石

膀胱結石ヲモ見  
病的ニ對スルロエンツゲン氏X放散線ノ診斷的價値ニ

二二—二三

結節性裂毛症

殆ンド全頭髮ヲ侵シタル——(實驗瑣談)

二四

結膜……………眼珠結膜ヲ見ヨ

下熱作用……………結麗阿曹篤ヲ見ヨ

下痢

慢性ノ——ノ療法ト手乳トノ關係

鎌狀縁—睫弓

及——ノ人工的形成

顯微鏡的技術

皮膚病學ニ於ケル——

二三

〇フ

古加因

——局處麻醉法ノ進歩

四

黒水熱

——ニ就テ

三八

後屈子宮……………妊娠、膀胱充滿ヲ見ヨ

虹彩肉腫

光線療法

四三

骨萎縮—骨炎—胯内齧症

——組織學的研究並其結果——、畸形性

——及關節性)ニ就テ

二二—二三—

骨折

——、脱臼ト年齢ノ關係

六

骨膿瘍

——ニ就テ

四三

固定

「フォルマリン」——ニ就テ

一一

神戶

……………ベスミヲ見ヨ

四三

鼓膜穿開術

——ニ就テ

四三

虎列拉血清療法

——ニ就テ

二

〇サ

細菌

富士山ノ——

四八

裁判化學

——ノ一汎ニ就テ

五

催眠藥……………うしろふゝる、いぞぶらゝるヲ見ヨ

産科臨床

(實驗一束)

三二(合)

# 〇シ

色素性肉腫

眼球結膜ニ於ケル

一

子宮外妊娠

(腔腹)ノ一例

一三(合)一五

子宮癌腫—子宮筋腫

ト統計的比較第一回

調査報告

三五—三六

子宮纖維性筋腫

ト多房性卵巣囊腫併發症ノ一例

一八

巨大ナル粘液ノ實驗

四四(合)

支那婦人

人工的變縮定ノ剖見(ノ足)

一五

實扶の里血清療法

小實驗

二

脂肪類

ベネザクト氏及蠟種ノ分析

一二—一三

尺骨動脈

ノ畸形(淺在)ノ一種

二〇

種痘

—ニ就テ

一二

十二指腸蟲病

患者ノ必發的症候ノ價值ニ就テ

一六一—一七

腫瘍……………膀胱充滿ヲ見ヨ

三二(合)

上顆突起—上膊骨

ノ「アモンストラチオン」

三

消化機能

肉羹汁ノ—ニ對スル試驗

四八

食料

本校寄宿舎ノ—ニ就テ

五

昇汞中毒

Teber Sublimat—Intoxikation.

四四(合)

處女膜閉鎖

—ニ由ル膈血腫ノ一例

六

上膊

—ニ於ケル筋肉、尿管及神經 同時ニ來リタル

二〇

上膊動脈

長掌筋及ビ—ノ異常一例

八—九

視力試驗

徵兵検査ノ—ノ管見

四

神經

……………顔面神經、上膊ヲ見ヨ

四

神經瘤

所謂葡萄狀——ニ就テ

二四

浸出法—植物分析

ニ於ケル一般

五〇

震顫………ひすてり性震顫ヲ見ヨ

心臓

——及ビ脈管ノ先天性畸形ニ就キテ

三七—三九

心臓位置

——ノ破格ト助膜炎合併ノ實驗

四

心臓病

先天性——(先天性肺動脈狹窄等)ノ一例

四一

腎臟水腫

——患者ノ供覽

九

蕁麻疹性紫斑

(實驗瑣談)

二四

〇ス

菅池地方………奇病ヲ見ヨ

〇セ

石鹼

化粧——定量試驗成績

一

脊髓

日本人ノ——(第一回報告)

二六—二七

脊髓前角炎

急性大人——ノ一例及其臨床的觀察

六

脊髓病—先天梅毒

——ニ因スル脊髓病

三二(合)

脊髓麻痺—脊髓硬膜浸潤麻醉

「ゾラール、インフジオン」ニ就テ

一九

脊椎結核

——ノ治療法ニ就テ

二一—二二

赤痢

肝硬變症ニ併發セル慢性——ノ一例

三五

製劑集

醫家用——

一

舌苔

——ニ就テ(臨床上ニ於ケル醫事斷片)

二五

纖維腫—纖維筋腫………卵巣、子宮纖維筋腫等ヲ見ヨ

纖維素性鼻炎………鼻炎ヲ見ヨ

腺腫………大腸腺腫ヲ見ヨ

栓塞………腦動脈、半身不隨ヲ見ヨ

先天性畸形………心臓、脈管ヲモ見ヨ

一

先天性痙攣性關節強直症

——一束

先天性心臟病——先天性肺動脈狹窄  
ノ一例 三

先天性二指欠損症  
等ノ一例 四一

二就テ 二一

### 〇ソ

双胎  
——ニ發シタル急性羊膜水腫ノ一例 三七

### 〇タ

胎兒  
分娩後十ヶ月間——頭骨片ノ腔内ニ殘留セシ一例 二六

死後八週(?)ニ經テ娩出セル女性胎兒ノ一例 三三

大人脊髄前角炎………脊髄前角炎ヲ見ヨ

胎毒下  
所謂「——」ノ警告 三三

臺灣………血球調査、嘔嘔仿謨麻酔、乳糜血尿ヲ見ヨ

脱臼  
骨折、——ト年齢ノ關係 六

煙草  
——ニ就テ 一六

炭酸  
校舍及寄宿舎空氣中——並ニ換氣量試驗報告 二四

單姿勢不定症………あてとーじすヲ見ヨ

男女性  
懷孕ト——トノ關係 六

膽石  
——例數ニ就テ 三三

蛋白尿性網膜炎………網膜炎ヲ見ヨ

### 〇チ

腔痙攣  
月經閉止後ニ於ケル——ノ實驗 三

腔血腫  
處女膜閉鎖ニ因ル——ノ一例 六

窒息死  
嘔吐ニ因スル——ノ一例 四

腸  
………小腸、盲腸、大腸、寄生虫ヲ見ヨ

聽覺  
耳根治手術後ケル二個岩樣骨ノ病理的所見ヲ述ベテ  
其被皮機轉ト後ノ——ニ及ホスベキ影響ヲ論ズ

四六(合)  
四七(合)

聽器検査

學齡兒童ノ——ニ就テ

一七

腸結核

原發性ノ——

三六

長掌筋

——及ビ上膊動脈ノ異常一例

八一九

徵兵検査

——視力試験ヲ見ヨ

〇ツ

頭蓋

金澤醫學專門學校解剖學教室——標品測量報告第一 四九

〇テ

定量法……………燐酸、莫兒比涅ヲ見ヨ

〇ト

篤志解剖……………解剖ヲ見ヨ

突起……………上顎突起ヲ見ヨ

糖尿

——ニ就テ

——鑑識ノ一法タル Phenylhydrazinprobe

一一  
三四  
三五

動脈

……………上膊、尺骨動脈ヲ見ヨ

吐糞症

——ノ一例

二〇

〇ニ

肉羹汁

——ノ消化機能ニ對スル試験

四八

肉叉蚊

……………あのふえれすヲ見ヨ

肉腫

……………眼球結膜、虹彩、小腸、卵巢ヲモ見ヨ

三一  
三二  
三三(合)

乳嘴腫

頭部並ニ前膊ニ於ケル——ノ一例

八

乳糜尿

——ヲ兼ネタル卵巢嚢腫ノ「エヌクレアチオ」

——ノ實驗

——患者實驗道報

一〇

臺灣ニ於ケル「フライリヤ」血——ノ一例

尿石

……………膀胱結石、結石ヲ見ヨ

妊娠

……………子宮外妊娠ヲモ見ヨ

——ニ兼ナル卵巢嚢腫ノ實驗

一部性後屈子宮——ニ因スル膀胱充滿ノ一例

一一

両側性卵巣嚢腫ニ——ヲ兼タル者ニ開腹術ヲ

施シタル一例

三三

妊婦……………卵巣皮様嚢腫ヲ見ヨ

○ネ

熱氣消毒室

一

熱帯貧血

臺灣守備兵血球調査報告附、——ニ就テ

二一—二二

粘液纖維性筋腫

巨大ナル子宮ノ——ノ實驗

四四(合)  
四五(合)

○ノ

膿胸

麻刺利亞ニ併發セル——ノ一例(在臺)實驗

四一

嚢腫……………卵巣、卵巣皮様嚢腫ヲ見ヨ

腦脊髄多發性硬化症

ノ一例

一一三(合)  
一四(合)

腦動脈

ノ栓塞ニ由ル半身不隨ノ一例

六

○ハ

肺結核

——ノ豫後ニ就テ

六

肺癆ノ臨床上病期分類ニ就テ

四九

敗血症

火傷後ノ——ノ一例ニ就テ

四九

肺動脈……………心臓病ヲ見ヨ

四九

肺ぢすどま

——ニ就テ

四三

梅毒……………遺傳、先天梅毒ヲ見ヨ

四三

ババンスキー氏反射

(臨床上ニ於ケル醫學斷片)

二五

白点狀網膜炎……………網膜炎ヲ見ヨ

半身不隨

腦動脈ノ栓塞ニ由ル——ノ一例

六

○ヒ

鼻炎

纖維素性——ニ就テ

二八

ひすてりー



ノ一例  
一種ノ發作性  
性震頭ノ一例  
一

鼻茸  
ノ摘出ニヨリテ治愈シタル「エリトロメ  
ラルギー」ノ一例(實驗瑣談)  
二七

鼻病  
ヲ論ズ  
三四―三五

皮膚水腫  
急性限局性皮膚水腫ヲ見ヨ

皮膚病學  
ニ於ケル顯微鏡的技術  
二三

千九百〇二年ニ於ケル  
ノ病理學及  
病理解剖學上ノ進歩  
三三

〇七

ふいらりや  
乳癰尿ヲ見ヨ

ふえにーるひごらちん試驗  
糖尿鑑識ノ一法タル  
三四―三五

ふれるまりん  
固定ニ就テ  
一一

腹水  
婦人ノ  
七

副腎腫  
惡性副腎腫ヲ見ヨ

副長惣趾筋  
ニ就テ  
四

副腓腸筋  
ノ異常  
五

風疹  
ノ流行  
二五

葡萄狀神經瘤  
神經瘤ヲ見ヨ

舞蹈病  
「アテトジスト」ニ就テ並ニロイベ及  
ベルンハルト氏ノ所謂移行例ノ實見  
九

分析  
植物分析、脂肪類、蠟種ヲ見ヨ

〇八

べすと

神戸ニ於ケル  
患者ニ就テ  
一一

神奈川縣  
病況報告  
三〇

へみるん結晶  
血痕検査ニ於ケル一二物料ト  
ノ關係ニ就テ  
二五

へるにや  
盲腸ニ因スル左側外鼠蹊  
一九

盲腸  
ノ實驗例追加  
二三

偏執狂

放火事件ニ因スル——ノ鑑定例  
變縮足……………支那婦人ノ足ヲ見ヨ

一三(合)

### ○木

#### 法醫學

X光線ノ——的應用實例

一九

#### 放火

放火事件ニ因スル偏執狂ノ鑑定實例

二回放火未遂犯者ノ鑑定實例

一四三(合)

#### 膀胱結石

——検査法

二

#### 膀胱充滿

——ヲ卵巢囊腫ト誤診セシ一例(三省録)

二

——ト腫瘍トノ誤診實例

七

——一部份後屈子宮妊娠ニ因スル——ノ一例

一三

#### 謀殺

——未遂犯鑑定實驗(モルヒ子中毒)

二

放線狀菌病——あくちのみこーぜヲ見ヨ

#### 法律

鑑定ノ結果ヨリ及ボス——ノ適用

五

### ○マ

麻醉……………古加因局處、嘔嘯仿謨、脊髓麻醉ヲ見ヨ

麻痺……………痙攣性脊髓麻痺ヲ見ヨ

まらりや……………あひふねれすヲモ見ヨ

——ニ併發セル膿胸ノ一例(在臺實驗)

四一

### ○ミ

尿管……………上臍ヲモ見ヨ

心臓及ビ——ノ先天性畸形ニ就キテ

三七—三八

#### 耳

——根治手術後ニ於ケル二個岩様骨ノ病理的所見ヲ述ベ

テ其被皮機轉ト後ノ聽覺ニ及ボスベキ影響ヲ論ス

四六(合)  
四七(合)

### ○メ

#### 免疫

——論

——法ノ種類ニ就テ

五四

〇モ

網膜炎

蛋白尿性——ノ一例

白点状——ノ實例

白点状——之二例

網膜血管

奇異ナル——ノ變狀

網膜剝離

治驗

柔道ニ誘發セル——ニ就テ

莫爾比涅

阿片中——含量ヲ定量スル新法ニ就テ

〇ヤ

夜尿症

咽頭扁桃腺肥大症ノ切除ニ依テ治癒セル

——ノ三例

〇エ

羊膜水腫

急性——症ノ一例

一卵性双胎ニ發シタル急性——ノ一例

〇ラ

癩

金澤地方ニ於ケル防——私見

卵巢

左側——ヨリ發生セシ纖維筋腫ノ一例

卵巢纖維腫

兩側——ノ一例

卵巢肉腫

處女ニ於ケル——ノ一例

卵巢囊腫

妊娠ニ兼ヌル——ノ實驗

膀胱充溢ヲ——ト誤診セシ一例(三省)

乳嘴腫ヲ兼テタル——ノ「エヌクレアチオ」

兩側——ノ一例

子宮纖維筋腫ト多房性——併發症ノ一例

兩側性——ニ妊娠ヲ兼タル者ニ開腹術ヲ

施シタル一例

卵巢皮様囊腫

六箇月妊婦ノ——摘出治驗

三三  
三七

七

五一六

一八

二七

二

二

八

九

二六一二九

三三

一〇

○リ

輪癖

——及ヒ頑癬療法ニ就テ

磷酸

——ノ容量的定量法ニ就テ

○ル

れんちえん氏放散線……………X放散ヲ見ヨ

○ロ

蠟

ベネチクト氏脂肪類及——種ノ分析

鹿角精

——ニ就テ

肋膜炎

心臓位置ノ破格ト——合併ノ實驗

老人弓

——ノ病理解剖學的補遺

二

二

一一一三

一

四

二〇



第參篇

漫錄通信  
會報其他

逐號目次

# 第壹號

## 漫 錄

- 老婆心……………澤 賢 吉
- 須らく一年志願兵タレ……………天 地 生
- 鉄腸漫録……………松 原 鐵 腸
- 嘔水閑語……………輪 濤 生
- 小言……………霜 葉 生

## 雜 錄

- 十全會講話部第四回通常會○鈴木教授ノ渡歐○本校醫學部學用患者及解剖屍體數○本校得業士交名○本校規則改正○解剖屍体追吊會○金子教授ノ新任○金澤病院手術室新築落成○本校醫學部第九回卒業式○本校秋期陸上大運動會○短艇競漕會○甲午藥學會○私立高等學校豫備學會○福井縣得業士會

- 祝詞 △祝詞……………大島誠治△會誌發刊ヲ祝ス……………河合鷹△十全會々誌ノ祝詞ニ代フ……………久保捨藏△十全會々誌ノ初刊ヲ祝シテ……………番場友平△十全會々誌ノ發刊ヲ祝シテ……………庶野喜久雄
- 十全會沿革略要……………本 會 幹 事

# 第貳號

## 漫 錄

- 悼歌二首……………番 場、大 四
- 杏林笑話……………A B C 生
- 鐵腸漫録……………松 原 鐵 腸
- 春を迎ふ……………廣 野 霜 林
- 消閑漫語……………輪 濤 生

## 雜 錄

- 英照皇太后陛下崩御○講話部第五回通常會○本校醫學部評議會の新設○級長及幹生新制○得業士交名○特別會員動靜
- 在獨、鈴木(文太郎)醫學士よりの書牘

# 第參號

## 漫 錄

- 田舎の醫者……………藤 岡 東 江
- 溫泉めぐり……………久 保 輪 濤
- 鐵腸漫録……………松 原 鐵 腸

## 雜 錄

- 本校々長更迭(大島川上)○大島前校長送別會
- 學生行軍○端艇競漕會○本校紀念日○川上新十全會長○藥學科學生修學旅行○本校外科實驗室の新築○金澤病院の小兒科新設○特別會員動靜○高橋教授新任

○人體國の人民……………木 村 教 授

# 第四號

- 斷々……………加 南 耶
- 暑中雜詩……………勢 川 漁 夫
- 鐵腸漫録……………松 原 鐵 腸
- 白山紀行……………田 中、吉 田、橋 本

## 雜 錄

- 講話部第六回通常會○木村教授の歐行○岡部教授の辭職○下平教授新任○本會役員改撰○本校各課主任の任命○級長及幹生の任命○學科長の任命○會員動靜○村上教授令息の特志解剖○軍艦吉野の金石寄泊○秋季陸上大運動會○本校醫學部卒業式
- 鈴木醫學士よりの書信二通

# 第五號

## 漫 錄

- 醫窓餘録……………久 保 輪 濤

## 雜 錄

- 講話部第七回通常會○川上校長の非職○北條校長の新任○本會第三回總會○野田教授の榮轉○高山(正雄)教授の新任○本校臨床講義場の組織變更

○本校武道大會○會員動靜  
在伯林、木村教授の通信

### 第六號

#### 漫 錄

○餘白支點……………未曾藏生  
○鐵腸漫錄……………松原鐵腸  
○醫窓餘錄……………久保輪濤  
○秋季行軍記事……………松 浪 生

#### 雜 錄

○講話部第八回通常會○本會規則改正○高橋教授の辭職○本校眼科教室の新築落成○藥學科生徒の植物採収及衛生化學實習旅行○北條新會長○會員動靜

○木村教授の通信

#### 附 錄

○十全會々員姓名錄

### 第七號

#### 漫 錄

○亡友吉村君を憶ふ……………松 浪 生  
○先師岡部先生ヲ深ク悲シミテ……………K 生

○亡友富田、吉村二君ヲ惜ミテ……………全  
○擲筆ノ辭……………松原、番場、久保  
○漫々錄……………點 玄道人  
○秋夜忍故郷……………小立野生  
○觸感錄……………濱口竹軒

#### 雜 錄

○講話部第九回通常會○本會役員改撰○級長、幹生の任命○特別會員動靜○末近助教の新任○上田新任教授○前教授岡部忠君の訃音  
○鈴木學士の書信

### 第八號

#### 漫 錄

○卒業生諸君を送る序……………縷絹委兄  
○嗚呼松本善次郎先生……………全  
○鐵腸漫錄……………松原鐵腸  
○解剖美人……………殘 紅 生  
○解剖美人ノ後トニ……………竹 軒 生  
○一件三行……………松 浪 生

#### 雜 錄

○講話部第十回通常會○秋季陸上運動會記事○本校醫學部卒業證書授與式○解剖精靈追悼會○故岡部教授其他諸氏の追悼會○幹生の任命○本校臨床講義場教務課の新設○本校武道大會○會員動靜○

松本助教の遠逝○本校解剖屍牀増加○叙任辭令  
○高山(正雄)教授の辭職○本校醫學部四年生の修學旅行  
○木村教授の消息

### 第九號

#### 漫 錄

○一件三行を讀みて……………輪 濤 生  
○雜 咏……………中西政太郎

#### 雜 錄

○特別會員動靜○本校臨床講義場運動部再興○高安教授の獨國留學

### 第十號

#### 漫 錄

○新入學諸君を迎ふ……………久保輪濤  
○卒業生諸君を送る……………久保輪濤  
○鈴木大學教授の講話……………久保輪濤

○遊立山記……………香屋居士  
○雜 詠……………笹岡芳名  
○颯澤ノ君ノ死ヲ悼ミテ……………輕部修一  
○雜 詩……………田 秋 海

○陸上運動會記事

雜錄

- 本校規定改正○臨床講義場内圖書閱覽室の新設
- 本校公認下宿○解剖遺体法會○鈴木學士の歸朝
- 高安教授の洋行○級長及幹生○會員動靜○金澤病院非常心得○講話部第十二回例會○本校校友會成立○校友會役員○醫學部卒業證書授與式○叙任辭令
- 在京松原氏の通信

第十一號

漫錄

- 予が所謂三節.....文盲生
  - 隨想隨筆.....不哉散史
  - 憶高安恩師.....濱口竹軒
  - 漢詩四首.....香屋居士
  - 節酒の方法として杯の交換を凝するの希望.....仰天堂主人
  - 枕上書感.....田秋海
  - 元旦.....竹軒
- 雜錄
- 高安教授の着獨○講話部第十三回例會○本校青年節酒會記事○會員動靜○木村教授歡迎○叙任辭令○校友會豫算○公文

附錄

○會員名簿

第十二號

漫錄

- 木村教授祝宴會上に於ける同教授の口話
- 寒稽古記事
- 武道勝負大會記事

雜錄

- 會員動靜○第十四回講話會○第十五回講話會○木村教授歸朝祝賀會○本校病理教室増築○賞狀下附○叙任辭令○各高等學校明治卅三年度歳入歳出豫算○明治卅二年度解剖屍骸數○明治卅二年度金澤病院患者數○金澤病院藥價、手術料其他の規定
- 在獨高安教授の書信○在臺南星野軍醫の通信

第十三、十四號

漫錄

- 博物雜言.....空外山人
- 春季端硯競漕會.....冷眼生
- 佐藤先生を送る.....草樂子
- 片言錄.....欲岡芳名
- 醫事俳句.....
- 雜詠五首.....

○漢詩.....香屋居士

○無我境.....空哉子

○勿笑錄.....竹軒居士

○醫窓餘錄.....久保輪濤

雜錄

- 木村教授の學位受領○清浦法相の來校○皇太子殿下御慶事祝賀式○弓術大會○柔道部員送別會○第十六回講話會○佐藤柔道教師の辭任○病理學教室の新築○會員異動○在京者の同窓會○大澤、中濱兩博士の來校○醫學科第四年級修學旅行○全國醫師、藥劑師數○舊加賀藩主前田利嗣侯薨去

第十五號

漫錄

- 新入生諸子を迎ふ.....枕流子
- 卒業生諸君を送る.....射水生
- 舊知處.....
- 隨感隨筆.....全
- 邪味漫錄.....
- 漢詩四首.....香屋居士
- 漢詩及和歌各一首.....木下竹外史
- 和歌三首.....栢廼葉
- 雜詠四.....芙蓉生
- 泣露吟.....東恨子
- 俳句三.....ふくろふ



雜 錄

○叙任及辭令○級長及幹生○會員動靜○湯目新任講師○學生監督の新制○本校學生の制服○本校の禁酒規定○休學規定改正○本校規則改正○金澤病院新築案の提出○三十二年度校友會經費決算及三十三年度豫算書○本會役員○第十七回講話會○在京會員同窓會○新入會員○公文

○伯林醫科大學學科目○第十三回萬國醫學會概況  
○野田忠廣氏よりの來狀

第十六號

漫 錄

○塵界狂語……………天 祐  
○漫言拾錄……………井原眠鶴若老  
○博物雜言……………藥學の竹外山人  
○春の歌五首……………笹岡芳名  
○暮秋卒業生を送りて……………輕部里水  
○露……………中西三綠

會 報

○叙任及辭令○會員動靜○醫學部卒業證書授與式  
○第十八回講話會○第十九回講話會○弓術部競射略記○秋季陸上大運動會記事○解剖遺體の法會○

金澤病院新築案の通過○本誌體裁の變更

通 信

○高安教授の通信二件○在倫敦、横山軫氏の通信○在歐、野田忠廣氏よりの飛信二件○在京、中川幸庵氏よりの來狀

公 文

八件

附 錄

○會員名簿

第十七號

漫 錄

○魂のわづらひ……………さ、た、子  
○初花染……………去  
○光の歌……………ふにがし  
○春十題……………なにがし

會 報

○叙任及辭令○會員動靜○石川講師の新任○第二十回講話會○御宸署勅語拜觀○武道大會○本校解剖屍牀數○本校内科及婦人科教室の増築竣工○檢疫官としての關屋林之助氏○本會入退會員

通 信

○高安教授の通信○在天津、飛見丈俊氏の通信○在越中、藤井助雄氏通信○在上海某氏よりの來信

公 文

二件

第十八號

漫 錄

○醫學上に關する民俗的迷信……………睡 虎  
○修學旅行記事……………Y S 生  
○春五句……………破 筆  
○雜詠五首……………藥 二 生

雜 錄

○叙任及辭令○會員動靜○醫學部の獨立○獨立に關する校長心得の訓諭○分立に關する校友會の處分○金澤醫學專門學校分教場○庶務掛並に會計掛○山崎校長心得の上京○外科室の擴張○醫學科四年、藥學科一年級の修學旅行○第廿一講話會○第廿二回講話會○在京會員同窓會記事○皇孫御降誕祝賀式○本會入退會者

通 信

○松原三郎氏の通信○横山軫氏の通信

公 文

三件

第十九號

漫 錄

○ピツオツエロ氏小傳……(雜纂欄)：南 溪 生  
○嚴島詣……………殘 紅 生

會 報

○叙任及辞令○會員動靜○高安教授の歸校○醫專  
四高聯合短艇競漕會○醫專四高弓術競射大會○御  
眞影奉迎式○講話會第一回總會○生徒体格検査成  
蹟○運動俱樂部南下競技○特別會員鈴木、上坂兩  
氏の學位受領

通 信

○久保武氏の書信○松原三郎氏の通信

公 文

一件

第二十號

漫 錄

○新入學生を迎ふ……………さ、た、生  
○送別の辞……………四 品 生  
○思想の最強者……………胡 蝶 生  
○偶 感……………落 水 生  
○那谷紀行……………有 一 生  
○角帽日誌……………M A 生  
○和歌二首……………征 岡 芳 名  
○詩八首……………釣 雪 漁 郎

會 報

○叙任及辞令○會員動靜○本校校長の更任(高安  
教授新任)○山崎教授の獨逸留學○金澤醫學專門  
學校規則○金澤醫學專門學校十全會則○本會役  
員○生徒服制服裝規程○本會贊助會員資格の變更  
○特別會員堤、岡田兩氏慰勞會○本校卒業證書授  
與式○卒業生送別會○高安教授歡迎會○秋季大運  
動會○第廿三回講話會○學期及學年試驗施行方法  
○圖書閱覽室の開設○濟々堂の命名式○入退會者

通 信

○在京濱口廣海氏の通信

公 文

五件

第二十一號

漫 錄

○麗はしき新年よ……………さ、た、生  
○塵 影……………萍 生  
○死亡證の診斷病名……………考 堂  
○古 墳……………釣 雪 漁 郎  
○祝十全會雜誌改良……………高 橋 常 作  
○詩八首……………鷺 山 香 屋  
○和歌三首……………故、小 田 隆 甫  
○清花素影錄……………釣 雪 漁 郎

會 報

○冬十句……………さ、た、生  
○叙任及辞令○會員動靜○木村博士の謝狀○明治  
三十三年度十全會費決算報告○三十四年度十全會  
歳入歳出豫算計算書○青年節酒會の徽章寄贈○退  
會及死亡者

通 信

○杉山弘齊氏の通信○瓜生尹重氏の書信○渡字貞  
氏の通信

公 文

三件

第二十二號

漫 錄

○暮酔のにもひ……………有 壁 秋 琴  
○塵 影……………萍 生

會 報

○叙任及辞令○會員動靜○山崎教授の獨逸留學  
○北豐吉氏の獨逸留學○大西教授の新任○金澤  
病院長の更任○故永井源吾氏の略歴○退會、死亡  
及改姓者

通 信

○在臺灣關口頭太郎氏の通信

公文 八件

第二十三號

漫錄

○紫金の星……………岡島狂花

會報

○叙任及辞令○會員動靜○第廿四回講話會○廿五回講話會○講話部第二回大會○獨逸語學會○劍道紅白勝負○武術寒稽古皆勤者○本校紀念式○劍道及柔道進級證附與○林格檢查成績○義捐○入退會者

通信

○高松多齊氏の通信○橋本喜久三氏の通信○山崎教授の通信○佐伯亮齊氏の通信○祇岡勝治氏の通信

第二十四號

漫錄

○曼水録金……………餘白先生

會報

○叙任及辞令○會員動靜○劍道大會○故永井源吾君の屍骸發見○立見第八師團長の謝狀○得業士稱

號認可○松井専門學務局長の來校○圖書寄附の依頼

通信

○在獨、北豐吉氏の端信○在伯林山崎教授の通信○生沼曹六氏の通信

公文

五件

○故三等軍醫醫學得業士永井源吾君肖像

第二十五號

會報

○叙任及辞令○會員動靜○在京會員異動○新入學生諸君を迎ふ○卒業生諸君を送る○本校規則改正○本會役員○明治卅四年度十全會費決算報告○卅五年度歳入歳出豫定計算書○卒業式○金子教授の獨逸國留學及送別會○第廿七回講話會報告○秋季運動會○大能校丁への慰勞○入退會者

通信

○金子教授よりの通信○在京會員同窓會高岡高勝氏の通信○香港に於ける所見(松王數男氏)

第二十六號

漫錄

○醫學博士木村孝藏先生の經歷……………羽根田信次  
○木村先生去る……………點玄道人

會報

○叙任及辞令○會員動靜○木村教授告別式及送別會○富田教授新任○本會名譽會員の推薦○金澤病院職制改正○金澤病院各科醫長囑託○入退會者

通信

○北豐吉氏の通信○金子教授書翰の一節

第二十七號

漫錄

○醫學博士木村孝藏先生の經歷……………羽根田信次

會報

○叙任及辞令○會員動靜○金澤病院院長の更迭○金澤病院の新築工事○石川縣産婆講習所の設立○柔道部記事○講話部第三回大會○本校紀念式○春期運動會○弓術部大會○入退會者

通信

○金子教授の通信

公文

九件

第二十八號



二件

### 第三十四號

#### 漫錄

○藻盤草……………風山兒

○閑筆……………雨橋

○支那醫界の前途……………王建著

#### 會報

○人事彙報○第三十一回講談會○第三十二回講談會○弓術部春季競射會○講話部第四回大會○小西講師へ寄贈○山崎教授歸校式○山崎教授歡迎會○提灯行列(祝捷會)

#### 通信

○在米國清水齊雄氏の通信

### 第三十五號

#### 漫錄

○Aus Molkens Leben……………S、W、

○中學に在る友に送る歌……………伊藤哲一

○草枕(其一)……………林秋峰

○雨絃風箏……………鈎雪生

#### 會報

○本校役員○新入生諸君を迎ふ○級長及幹生○叙任辞令○會員勸靜○佐々木教授の獨國留學○勸靜

○捧讀式○十全會學術實習部の新設○十全會大茶話會○雜誌部經常費の節約○明治卅六年度十全會經費收支決算報告○卅六年度十全會校外特別會員會

○費收支決算報告○三十七年度十全會經費收支豫算

○在伯林佐々木教授の通信○金子教授の通信○竹中繁次郎君通信○木下克雄君書信二通○田中正一君の通信○田中一次郎君の通信○渡邊十治君通信

○羽根田信次君書牘○山田義忠君通信

#### 通信

○軍資金猷納者人名○猷金に對する感狀

○訣別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

#### 會報

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

### 第三十六號

#### 漫錄

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

#### 會報

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

#### 通信

○佐々木教授通信第三○全上第四○木村博士の書信○松王數男君の書信○松原氏米國雜信○木下克雄君通信○笠備吉郎君の通信○三野賢吉君書信○松田研吉君通信

○螢雪餘光……………笹岡芳名

○銃聲砲聲……………雨橋

○鶯韻……………雨橋

○春題雜吟……………雨橋

○叙任及辞令○支那語研究會○第三十二回講話會

○劍道大會○荻野隆光君の戦死

○伯林の第一ヶ月、佐々木教授

○叙任及辞令○本校紀念日○十全會大茶話會○日本海大海戰祝捷提灯行列○第五回講話大會○金子博士學位受領祝賀會○柔道部寒稽古及大會○木杯下賜○故荻野隆光君肖像及題辭○第二回軍資獻金

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

#### 會報

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

### 第三十八號

#### 會報

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

○破調集……………雨橋

○叙任及辞令○卒業式○十全會大茶話會○金子教授の歸校式○校歌○解剖遺骸法會○長距離競走○會員勸靜

○詠別の記……………雨城

通信

○伯林第二報、佐々木教授○在大坂會員第二回同窓會々員○吉川砥直君通信の一節  
○明治三十八年度十全會經費豫算書○十全會々則改正の件

第三十九號

漫錄

○沼津舊記.....池部雨橋  
○白山登山の記(其二).....米溪生  
○秋季雜吟

會報

○叙任及辭令○本會役員○謹んで大西先生を送る  
○大西教授送別會○大西先生の書翰○木村博士の祝詞演説○卒業生諸君を送る○卒業證書授與式○松浦教授新任○新入學生○解剖遺骸法會○明治三十七年度十全會收支決算報告

第四十號

漫錄

○盤雪餘光.....笹岡釣雪  
○金葩玉蕊.....釣雪小史  
○破蓮.....琴柱  
○坑内の闇.....雨橋

會報

○叙任及辭令○會員動靜○第三十五回講話會  
○新築石川縣金澤病院略圖

第四十一號

漫錄

○二雨會詠草.....諸同人  
○花もみち.....二雨會同人

會報

○新入會の特別會員○特別會員陸海軍醫の動靜○特別會員動靜○寒稽古記事○第三十六回講話會兼第九師團凱旋衛生部員招待會記事○第七回北陸聯合醫學會

通信

○佐々木教授第三信○齊藤義雄君通信

第四十二號

會報

○文部省訓令○第六回講話大會  
○飯森益太郎君通信○全君片信○松原三郎君通信

第四十三號

漫錄

○新醫學得業士諸君に贈る.....貧乏漁夫  
○くちかし染.....林琴柱  
○歸去來乎.....雨橋  
○二雨會命名記.....雨の  
○第一回二雨會例會の記.....雨城  
○二雨會詠草  
○二雨會句集

會報

○本會役員○級長及幹生任命○入學生諸君を迎ふ  
○卒業生諸君を送る○高峰博士の演説○福見先生長逝○第十三回解剖遺骸法會○明治三十八年度十全會收支決算報告

通信

○飯森益太郎君の渡歐日記(上)○全君民賢雜觀○松原三郎氏端信○在獨、橋本監次郎氏端信

附錄

○會員名簿

第四十四、四十五號

漫錄

○特別會員に答ふ.....八田生  
○無題錄.....春雨傘

○暮雲.....吟 雨 樓  
○塵土集.....池田菱吉

○二雨會吟稿  
○二雨會咏草

會報

○特別會員動靜○迎送會○湯目先生送別會○叙、柔兩道部彙報○第三十八回講話會○嗚呼關屋林之助氏○下平教授の着報

通信

○飯森益太郎君渡歐日記(下)○全君民賢雜觀○全氏消息

第四十六、四十七號

漫錄

○疾病美を論ず.....林 琴 柱  
○故東良平氏を悼む.....笹岡芳名  
○五月雨.....徳久 翌 流

會報

○本校紀念式○紀念日祝歌○第一回春季陸上運動會記○彌次日記○下平教授の近信

通信

○飯森益太郎君通信○英佛陸旅行、界外隱士  
○明治四十年度十全會經費豫算○四十年度校外特

別會員收入豫算○全支出豫算

第四十八號

漫錄

○字草.....薔薇公子

會報

○特別會員動靜○叙任及辞令○新入學生諸君を迎ふ○振風會の創立○四高、一中に於ける我來來賓競走を見る○縣下各校に於ける我が撰手○故東良平君(肯係挿入)

通信

○續民賢雜觀○松原三郎氏北米繪端書便○敷波重治郎氏通信○加藤寛氏通信○月原秀絶君通信

○明治廿九年度校外特別會員費收支決算報告○四十年收入支出の豫算

附錄

○佛典中の醫術.....佐藤 巖 英

第四十九號

漫錄

○元始の醫.....雨 橋 譯

會報

○叙任及辞令其他○新得業士諸氏の就職○卒業生諸君を送る○講話部記事○庭球部大會記事○弓術部報告○解剖漬鉢法會

通信

○松原三郎氏○在東京、島田吉三郎氏○在烟台、石橋四郎氏○在筑前、笠筒吉郎氏○在京都、有壁一雄氏○在滿洲、谷澤一郎氏○全、山下銀吾氏

附錄

○十全會々員名簿

第五十號

漫錄

○手帳の端.....雨 橋

通信

○加藤寛君書信の一節○敷波重治郎氏通信○松原三郎氏通信○石橋四郎氏通信

會報

○叙任及辞令其他○特別會員動靜錄○柔道部記事○劍道部彙報○高安博士二十年祝賀會記○在京四十年度卒業生懇親會記○講話部記事○第四高等學校端艇競漕會撰手出場○本誌第五十號と索引附錄

附錄

○十全會雜誌自第壹號總括索引至第五十號